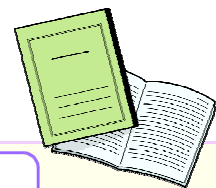


教科をつなぐ 指導をつなぐ

～ 教科・指導の連続性と違いを踏まえて～

学習指導要領のポイント



算数科の目標

(小学校学習指導要領 平成20年3月 文部科学省)

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、**表現する能力を育てる**とともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。

数学科の目標

(中学校学習指導要領 平成20年3月 文部科学省)

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理法則についての理解を深め、**数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高める**とともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

算数的活動・数学的活動の重視

- 「算数的活動を通して」「数学的活動を通して」と目標の冒頭に掲げられており、それ以下に示されている目標を実現するための学習指導の基本的な考え方として示されています。

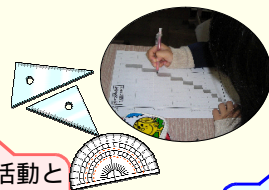
算数的活動

算数で目指す資質や能力をよりよく身に付けたり、算数を学ぶことの楽しさや意義を実感したりできるようにする。

外的活動が中心

目的意識を持って主体的に取り組む活動とする。自分で考え、表現する力を付ける。

つなぐ指導が大切!



数学的活動

基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けるとともに、思考力・判断力・表現力等を高め、学ぶ楽しさや意義を実感できるようにする。

内的思考活動が中心

具体物を操作する活動と考えたり説明したりする活動を結び付け、相互に活性化する。

言語活動の充実・評価

- 「表現する能力を育てる」「表現する能力を高める」という文言が加えられ、数や図形の性質などを的確に表したり、根拠を明らかにして筋道立てて説明したりすることが重視されています。
- 学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点も変更されます。とりわけ、「思考・判断・表現」においては、**思考・判断したことを言語活動を中心とした表現で評価**をします。

評価の観点	小学校算数	中学校数学
関心・意欲・態度	算数への関心・意欲・態度	数学への関心・意欲・態度
思考・判断・ 表現	数学的な考え方	数学的な見方や考え方
技能	数量や図形についての 技能	数学的な 技能
知識・理解	数量や図形についての知識・理解	数量や図形などについての知識・理解

スパイラルによる教育課程の編成

- 基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る観点から、発達や学年の段階に応じたスパイラルによる教育課程を編成しています。

(「アクション1<指導内容の系統性を知る>」を参照)